

北毛保健生協組合員現勢

2025年8月末時点  
 組合員 ..... 18,563人  
 出資金 ..... 7億6,015万円  
 1人平均出資金 ..... 40,950円

組合員自身の力で組織を大きく強くしましょう!

# くらしと医療

発行所

北毛保健生活協同組合

〒377-0005 渋川市有馬237-1  
 TEL 0279-24-2141 FAX 0279-24-8873  
 発行責任者 阿久澤 咏  
 編集責任者 くらしと医療編集委員会  
 印刷所 上武印刷株式会社

## 2025生協強化月間スタート

# 生協の魅力をさらに広げよう

## — 総代班長研修会 —



学習講演を聞き終わり拍手する参加者



学習講演 森下元賀さん

令和健康科学大学リハビリテーション学部理学療法士の森下元賀さんが「食べるでつながる〜健康づくり班会の質を高める〜」と題して学習講演を行いました。



10月1日〜11月30日の生協強化月間に向けて8月29、30日に「総代班長研修会」を伊香保温泉ホテル天坊にて開催しました。「生協を大きく強く、健康でくらし続けるまちづくり活動の実践から生協の役割を再確認」しようというテーマのもと、129名が参加しました。



今野義雄組合員活動委員会委員長は、生協強化月間の取り組みをわかりやすく説明し、北毛保健生協の現状と課題、これから

みをよくする。歯周病は全身の筋肉、バランスなどを悪くする、など日常の身近な問題に結び付いたわかりやすい講演でした。アンケートには「口の健康が全身の健康に関係していることがよく分かった」という感想が多く寄せられました。

### 「くらしと医療 10月号」を郵送いたします

北毛保健生協の定款では、組合員が住所を変更した際の届け出や住所変更の届け出を2年間にわたりされなかったときは、「脱退の予告があった」ものとみなし、事業年度末に脱退処理をすることとなっています。なお、「脱退予告があった」とみなす際は、事前に年1回以上の住所確認を定期的に行うこととしています。

毎年「くらしと医療 10月号」を全組合員宛てに郵送し、住所の定期確認をすすめていただいています。

その他、住所を変更された方は「住所変更手続き」が必要になります。

また、お亡くなりになられた方は、「法定脱退手続き」が必要となります。その際にご家族に対して、お亡くなりになった方の名義の引継ぎをお声掛けさせていただきます。

これらの手続きは北毛病院総務部にて、日曜祝日・年末年始を除く平日9時から16時、土曜9時から12時までお受けしています。必要な書類等がございますので、事前にお電話にてお問い合わせください。お手数をおかけしますが、ご協力よろしくお願い致します。

(問い合わせ先: 北毛病院総務部 TEL: 0279-25-2082)

【健康づくり委員会・宮嶋 國利さん】  
 モルックの紹介とモルックの広がりから班会が増えた。複数で競技するため交流が生まれる。  
 【赤城支部・宮内孝子さん】  
 支部旅行で仲間増やし



モルックで広がる班会  
 「健康づくり委員会・宮嶋 國利さん」  
 モルックの紹介とモルックの広がりから班会が増えた。複数で競技するため交流が生まれる。



組合員活動委員会委員長 今野義雄さん

【吉岡支部・坂田常治さん】  
 機関紙配布者会議には33人も集まった。配布者会議は感謝と仲間意識。配布者会議をきっかけに新しいつながりができ、新しい班会ができ、新しい仲間が増える好循環を生む出す。



強化月間成功に活かそう  
 2日目は6つの分散会に分かれて学習講演の感想や月間の計画、活動経験を交流。

赤城自然園でのウォーク エストや高尾山の支部旅行の中で仲間増やしを成功させた。地域の組合員の要求をとらえ支部活動に生かしていくことが大切。  
 【吉岡支部・坂田常治さん】  
 機関紙配布者会議には33人も集まった。配布者会議は感謝と仲間意識。配布者会議をきっかけに新しいつながりができ、新しい班会ができ、新しい仲間が増える好循環を生む出す。



分散会の様子

▼米を増産という話ですが、植物は昼間「光合成」により二酸化炭素を吸って酸素を出す。「呼吸」によって酸素を吸い二酸化炭素を出す。夜は「光合成」できず「呼吸」によって二酸化炭素を出す。稲作は二酸化炭素の吸収源であり排出源でもあります。水田の機能で市街地より田園のほうが涼しい。避暑を求めて移住が進むかもしれない。

▼田舎の利点を活かして移住促進、活性化。なんてね。

▼米を海外から輸入するには船か飛行機ですが、いずれも化石燃料を使い二酸化炭素を排出します。脱炭素に反し地球温暖化を促進するわけです。

▼米を増産という話ですが、植物は昼間「光合成」により二酸化炭素を吸って酸素を出す。「呼吸」によって酸素を吸い二酸化炭素を出す。夜は「光合成」できず「呼吸」によって二酸化炭素を出す。稲作は二酸化炭素の吸収源であり排出源でもあります。水田の機能で市街地より田園のほうが涼しい。避暑を求めて移住が進むかもしれない。

### 米・こめ・コメ

▼米の購入履歴を調べてみた。  
 2月・国産やまとむすび5kg  
 3月・アメリカ産カルローズ5kg 4月・あきたこまち2kg 5月・ベトナム産越南の絆5kg 6月・国産こはんいちばん5kg

3月5月は外国産です。4月のあきたこまちは様子見て2kg。  
 値段で選ぶとこんな感じで食料自給に反するわけです。

# 国際協同組合年・SDGs 北毛保健生協のとりくみ

## 国連「国際協同組合年」の目的

2012年、国連は「国際協同組合年」を定め、スローガンとして「協同組合が世界をより良くする」を掲げました。その目的は、協同組合の価値や仕組みを広く知ってもらい、地域や社会の持続的な発展に貢献することです。2025年は2度目の決定です。

## 生活協同組合は

協同組合は、営利ではなく利用者のために存在し、

「自発的参加」「民主的運営」「地域貢献」という原則を持ちます。この理念は、北毛保健生協が日々行っている活動の根幹でもありません。

## SDGsと生活協同組合

一方、2015年に国連が採択したSDGs（持続可能な開発目標）は、2030年までに達成すべき17の目標からなり、「誰一人取り残さない」世界の実現を目指しています。その考え方は、協同組合運動

と驚くほど共通しています。北毛保健生協の活動は、SDGsの多くの項目に直結しています。例えば：

**目標3**「すべての人に健康と福祉を」では、健診・予防活動・健康教室・減塩運動などを展開しています。

**目標11**「住み続けられるまちづくりを」では、地域サロンや見守り活動、防災協力などで暮らしの安心を守っています。

**目標12**「つくる責任 つかう責任」では、地産地消や環境配慮商品の利用、リサイクル促進に取り組んでいます。

ます。  
**目標13**「気候変動に具体的な対策を」では、省エネや節電、エコドライブ活動も実践しています。

## 北毛保健生協では

北毛保健生協は、医療や健康づくりだけでなく、組合員・職員・地域住民が協力して、環境・福祉・防災など幅広い分野で「協同の力」を発揮しています。これに合わせ、国際協同組合年が訴えた理念を地元で具体化するものであり、SDGsの

達成にも大きく貢献する取り組みです。  
国際協同組合年の精神に胸に、北毛保健生協は地域でSDGsを実践しています。小さな一歩の積み重ねが、みんなの未来をより良くします。



金島支部 園芸班会の取組み

## 地域住民の声を届ける ～3市町村と自治体懇談～

社保平和まちづくり委員会は7月25日に渋川市、8月7日に榛東村、8月22日に吉岡町との懇談を行いました。

懇談にあたっては、国民健康保険や介護保険分野、生活保護、教育・子育て、ヤングケアラー、マイナンバーカード、防災、物価高対策などの住民要求を要望書にまとめ、事前に回答書をいただきました。

委員は「いのちと健康、暮らしを守る」「子ども・子育てを応援、教育を大切にする」「誰もが安心して暮らせるまち」の3つのグループで協議し、回答書を活用した事前学習を行い懇談にのぞきました。

対応は自治体によって異なりますが、医療・介護・福祉に関する住民生活の「困りごと」について行政職員と率直に意見交換することができました。

すべての人の生活向上に向けて、北毛保健生協も自治体も、それぞれの役割を発揮することが求められています。今後も懇談を続け、安心して住み続けられるまちづくりに貢献していきたいと思えます。



渋川市懇談の様子



榛東村懇談の様子

## 平和映画会と組合員文化作品展

### 『九十歳。何がめでたい』

8月8日平和映画会を開催しました。午前の部493人、午後の部436人、計929人が鑑賞しました。90歳まで元気に生きたい。面白くてずっと笑っていました。これからの人生の参考になりました。など良かったという感想が多かったです。



市民ホールもいっぱい

### 組合員文化作品展

8月7日～8月8日渋川市民会館小ホールで組合員文化作品展が行われました。142人の組合員が書・絵・写真・手芸などの制作品を282点出展され会場はおおいに盛り上がりました。今回は過去最多の出展数となりました。



にぎわう文化作品展会場

## 北毛保健生協 社保平和まちづくり委員会主催 くらしの学校第一課

## ふくしま視察

日時 10月27日（月）6：00～20：00

行先 福島県

参加費 10,000円

先着40人となります。

締め切り 10月18日（土）まで

東日本大震災から14年、「ふくしま」の現状を視察します。

★お問い合わせは、北毛保健生協 事務局

(☎24-2141) まで



昨年の様子

# ～ 医師紹介 ～



地域の皆さんの多大なご支援・ご協力の下、2015年3月に北毛保健生活協同組合の新病院を竣工いたしました。建物が新しく綺麗になり、医療機器を含む設備・備品も刷新されて、今までとは一味違う北毛病院になりました。しかし、北毛病院の目指すところは変わりません。北毛病院は非常に難しい病気の診断や治療ができる最先端の医療機関ではありません。しかし、ほとんどの病気の診断および初診と、多くの病気のさまざまな段階での治療にいつでも対応できる最前線の医療機関として、この渋川の地において長年地域医療の一翼を担ってまいりました。当たり前医療を必要な方に「安心・安全」をお届けしたいと考えています。今後ともよろしくご厚意申し上げます。

北毛病院 病院長 橋本 真也



内科  
植野 貴也  
今年度も引き続き北毛病院で勤務しております。地域の皆様の健康な生活の支えとなるよう努めていきます。



内科  
松原 侑紀  
皆様の健康な生活に寄り添っていただけるよう頑張ります。よろしくご厚意申し上げます。



内科  
梅山 茂  
今年度も引き続き勤務させていただきます。地域医療の充実に貢献したいと思っています。



外科  
中田 拓也  
腹部の開腹手術、腹腔鏡手術、肛門の手術を中心に診療をしています。よろしくご厚意いたします。



小児科 (救急科)  
永井 裕介  
今年度も引き続き、北毛病院に勤務させて頂いています。子供達の身体の健康を守るだけでなく、こころのケアも出来るように精一杯頑張っていきたいと思っています。



北毛診療所所長 (内科)  
菅野 圭一  
お子様からご高齢の方まで、広く相談いただくことで、問題解決のお手伝いできればと考えています。



老健ほくもう  
吉田 健哉  
老健ほくもうで勤務しております。利用者様の健康管理に努めてまいります。



名誉院長 (診療所)  
小林 英喜  
診療をとおして、患者様の健康や生活のサポートができればと思います。



外科科長 (大腸肛門外科)  
助川 晋作  
地域医療に貢献できるように頑張っています。



名誉院長 (外科/消化器外科)  
根本 雅明  
巻き爪と手術後の患者様を中心に診療しています。爪でお悩みの方はまずお電話でご予約ください。



小児科科長 (救急科)  
福江 靖  
0歳から100歳まで、家族全員をケアする医療を実践しています。



診療部長 (内科)  
飯島 研史  
病気のことだけでなく、生活や人生なども見据えた診療を心がけたいと思います。



内科  
吉野 和博  
一律に良い数値を目指すのではなく、それぞれの方の最も良い状態を目指せればと思います。



副院長 (外科/大腸肛門外科)  
大島 康介  
主に消化器外科の診療をしています。小外科や肛門疾患も診ています。床ずれの処置なども行っています。



内科  
宇敷 萌  
今年度からまたお世話になります。病棟中心に診療を行います。訪問診療とあわせて、安心して療養できるように、努めていきます。よろしくご厚意申し上げます。

## 2025年度 生協強化月間 大腸がん早期発見キャンペーン

北毛保健生協に加入して健康で長生きを手に入れよう！

開催期間 2025年10月1日～11月30日 **捨てるうんちで拾ういのち**

日本人の死因の **第1位は「がん」**。  
 その中でも、大腸がんは日本人がかかりやすい「がん」の一つです。  
 大腸がんは症状がない早期のうちに発見し、適切な治療を受ければ、高い確率で治る病気です。  
 自宅でできる大腸がん検診を地域でひろげ、大腸がん死亡者ゼロを目指しましょう。



- ※1人様につき採便容器1セット(2本入り)をお渡しいたします。
- 強化月間中に加入、または増資(積立含む)をしていただいた方が対象となります。
- 当キャンペーン北毛病院、北毛診療所のみでのご利用となります。
- ご不明な点がございましたら、職員にお問い合わせください。
- ★検査実施期間 10月1日～12月28日(キャンペーン後も検査は実施します。)
- ★採便日を含めて、7日以内に北毛病院または診療所へ持ってきてください。
- ★10分程度お時間をいただき、その場で結果をお返しいたします。
- 北毛病院検査科 (月)～(金) 14時～16時30分
- 北毛診療所 (月)～(金) 9時～16時30分 (土) 9時～12時
- 北毛保健生活協同組合 ☎0279-24-2141 / 北毛病院 ☎0279-24-1234 / 北毛診療所 ☎0279-24-2818

10月の診療表は下記のQRコードでご確認ください。



※診療表は各事業所でもお渡しできます。  
 北毛病院 ☎24-1234  
 北毛診療所 ☎24-2818

### 医療講座



## 病院へのかかり方についてのアドバイス

北毛病院 診療部長 飯島 研史

皆さんの中では、具合が悪くなったら病院にかかって「治してもらおうもの」と考えている方が多いのではないかと思います。しかし実際には、医療は「医療者と患者さんの共同作業」と考えたほうが良いのです。例えば、医者の判断のうち、情報源として最も重視するのは患者さんや家族からの「症状や経過についての説明」で、これが診断や治療方針に大きく関わります。

#### 急病の場合

まず、急病などで受診する場合には、症状を簡単にメモしておく役立ちます。「いつから」「どんなときに」「どのような症状が」

「どのくらいの強さで」出るのか。例えば「昨日から夜になると咳が強くなる」「歩くときに息切れが出る」など、短くても十分です。診察室では緊張してうまく話せないこともあります。

薬の重なりや悪い飲み合わせを避けるためには、お薬手帳がとて大切ですが、直接関係なさそうな薬でも注意が必要なこともあります。財布など外出に持ち出すものと一緒に準備しておく

で、紙に書いて持っていくと安心です。また、現在使っている薬がわかる資料（お薬手帳など）は必ず持参してください。複数の病院や薬局を利用している方も多いと思います。

#### 診察のとき

診察のときに医師や看護師から説明を受けた際、「よく分からなかったけれど聞き返しづらい」と感じることはありませんか。分からな

いまま帰ってしまうとう、薬の飲み方や生活上の注意が不十分になってしまいがちです。私たちが、様々な患者さんに対してできるだけ合わせた説明を心がけていますが、どうしても限界もあります。分からなかったことは遠慮なく聞いていただいて大丈夫です。医療者にとつては、患者さんが安心

して理解できることが何より大切です。最後に、病院のかかり方でもちょっとした工夫ができます。体調不良で受診したいときはもちろん、受診するほどか迷うときでも、まず病院に電話で相談してください。アドバイスだけで問題ない場合もありますし、症状から予想される病気への対応が専門的に必要な場合もあり、より適切な病院への受診を助言できる可能性もあります。

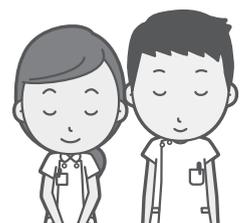
### インフル予防接種の予定日変更のお知らせ

くらしと医療9月号の載っている「インフルエンザ予防接種のお知らせ」で

北毛病院の受付時間が第1・3月曜、第2・4火曜、木曜の13:00～16:00となっていました。が正しくは第1・3月曜、第2・4火曜、水曜の13:00～16:00となります。

改めてくらしと医療11月号に訂正版を載せさせていただきます。

ご不明点がございましたら北毛病院までご連絡下さい。TEL: 0279-24-1234



## 班会紹介 ⑦

### 子持支部班会

子持支部は5つの班があります。残念なことになら1つの班が暮を閉じる予定です。長い間参加、協力してくれた皆様にお礼を申し上げます。

#### 「ひばり班会」

私たちの「ひばり班会」は、子どもが小学生の頃にママさんバレーに参加していた事がきっかけです。毎月第4金曜日の午後2時間程集まり、おしゃべりに始



ひばり班

まり、健康チェック、脳トレ、ストレッチ、組合員作品展に出品する作品作り等々色々なことに挑戦しています。年間計画を決めて

おくことはせず、毎回何をするかを決めています。今年はずこしおをテーマに尿の塩分チェックやカルタ、クイズで盛り上がりつつあります。少人数の班ですが、これからも色々な事に挑戦し皆で楽しく素敵なお時間を過ごして行きたいと思っています。

#### 「やよい班」

4月に開催した「ほくもう健康ウォークエスト」のモルック体験をきっかけに、地域でもモルックを始めたいと「やよい班」ができました。健康ウォークエストに参加を勧めたときに参加者から「楽しかった、



やよい班

ありがとう」と感謝され生協からも参加者を増やしてくれたと感謝されて、活動のやりがいにつながります。

#### 「けやき班」

けやき班会は、コロナ前は吹屋地区集会所(参集殿)で班会を開催していました。現在はケアプランセンターほくもうの2階で毎月第3月曜日の午前中に開催



けやき班

しています。参加者4〜5名、内容は主にマップづくりでしたが楽しい班会(モルック、食べ物づくり等)を取り入れていきます。また班会参加者の呼びかけをこれからもしていく予定です。「北牧地区の宮地班会は紹介のみとさせていただきます」写真は屋外でモルックを行ったものです。

### 地域の医療と介護を守るために増資にご協力をお願いいたします

近年の物価高騰や医療材料費・光熱費の上昇は、私たち医療現場にも大きな影響を与えています。それでも安心して暮らせる地域を守るため、救急・外来・入院・介護まで切れ目ない体制を維持するよう努めてまいりました。

北毛保健生協の基盤を支えるのは地域の皆さまからの出資金です。組合員の医療・介護の事業を守り、発展させるために皆さまに増資(出資金ふやし)へのご協力をお願いいたします。あなたの出資金が「誰かのいのちを救い」、また、誰かが出した出資金によって「あなたのいのちが救われる」ことにつながります。

#### 振込用紙をご利用ください

くらしと医療10月号では振込用紙の折り込みをさせていただきました。郵便振替での送金で増資ができます。

病院窓口など各事業所の窓口でもお申込みできます。さらに、地域の生協役員や職員がご自宅まで伺うこともできますので、お気軽にお問合せください。「地域の医療と介護を守る」増資にご協力をお願いいたします。

★お問い合わせは、北毛保健生協 事務局 (0279-24-2141) まで



# 北毛保健生協 常勤・パート職員大募集

## 2026年卒業予定者も歓迎!!

### 募集している職種

- ①医師 常
- ②薬剤師 常  
(2026年卒業予定者歓迎)
- ③臨床検査技師 常  
(歓迎)
- ④看護職員 常・パ
- ⑤看護助手 常・パ  
(未経験者歓迎)
- ⑥介護職員 パ  
(ヘルパー常勤)
- ⑦調理 常・パ  
(未経験者歓迎)
- ⑧事務 常  
(2026年卒業予定者)
- ⑨事務 常  
(現場受け入れ型インターンシップ)
- ⑩運転手 準パ

連絡先 渋川市有馬 237-1 北毛保健生活協同組合  
総務部 関口まで TEL 0279-24-1234

# わたしの一枚

赤城支部 角田 喜和

毎年8月になると思い出します。昭和60年8月12日夕刻、上野村の御巢鷹の尾根に日航ジャンボ機の墜落事故がありました。520人が亡くなりました。私は翌年から8月12日に慰霊登山を行ってきました。当時は、登山道は整備中で険しい道を登ったと記憶しています。墜落場所と広範囲に渡り、ハゲ山のいたる所に真新しい墓標が建てられていました。その中に坂本九（本名大島九）さんの墓標もありました。この写真は今から35年前の8月12日、有志の皆さん18人で登ったときの写真です。このような悲惨な事故が二度と起きない事を願っています。



坂本九さんの墓標

# ほくもう健康 ウォークエスト

歩いて、脳トレ、楽しみながら  
フレイル予防!

開催日：10月29日(水) ※雨天中止  
開催場所：赤城自然園（受付場所 自然園入口）  
受付時間：10時00分～12時00分の間、お好きな時間にお越しください  
参加条件：未組合員も参加可  
参加費：500円（当日受付で集めます）  
当日の流れ：①出入口（受付）にお越しください。ルールの説明をします。  
②赤城自然園内に隠された北毛保健生協の「脳トレ」を実施してください。  
③出入口に戻って、「脳トレ」の答え合わせをして終了です。

参加記念品：ポケットティッシュ、ボールペン  
※申し込み締め切り10月24日(金)  
★お申し込みは、北毛保健生協 事務局（☎24-2141）まで



「脳トレ」問題の答えをみんなで考えて…

## 私も配ってます

●配布者さん紹介●  
金島支部  
高山 幸子さん

今から5年前、金島の理事さんに「くらしと医療」の配布と総代を頼まれ、簡単に引き受けました。最初は5部だけ配っていましたが、組合員が増え今は25部となっています。しんどい反面、多くの出逢いがあり、嬉しい気持ちにもなります。そして地域の皆さん、一人一人と誰もが楽しく暮ら



せるために、改めて自分自身の健康を見直すために班会を立ち上げました。趣味のカラオケを始め、様々な体操や運動を周りの組合員さんと協力しながら行っています。私たちの班会（前原団地絆班）は一人一人を大切にこれからも進んで行けたらと思います。渋川に住んで58年となり渋川の人達に育てられ多くのことを学びました。

# ぐんままるごと健康チャレンジ 2025

今年も健康チャレンジの季節になりました。何か健康に良いことがしたいけど、「なかなかできない」「始めるきっかけがない」というみなさん。今がチャンス！ぐんままるごと健康チャレンジに参加してみませんか？

- ①チャレンジ期間：パンフレットを受け取ってから12月31日まで
- ②チャレンジ方法：6つのコースの中から自分の目標を決め、30日間連続して取り組んでください
- ③結果提出：取り組んだ結果をチラシ裏面のハガキに記入し、事務局へお持ちいただくか、ポストに投函してください。

\*提出締め切り 2026年1月31日  
\*報告ハガキ提出者には参加賞を差し上げます

★お問い合わせ先は、北毛保健生協 事務局（☎24-2141）まで



左記のQRコードからも報告ができますのでご利用ください。

# みんなの 本場

## 鶏肉の カラフル甘酢 ソースかけ



北毛病院栄養科  
すこしおレシピ

1人分あたり エネルギー：289kcal たんぱく質：13.8g 食塩相当量：0.96g  
北毛病院 栄養科 管理栄養士：大友理沙 調理師：佐藤凌雅

### 材料 1人分

鶏もも肉皮付き …… 80g (1切20g)	～ソース～	◎水 …… 30cc
塩 …… 0.1g	★玉ねぎ …… 10g	◎コンソメ …… 1g
こしょう …… 適量	★ピーマン …… 10g	◎砂糖 …… 3g
片栗粉 …… 適量	★赤パプリカ …… 10g	◎醤油 …… 1g
揚げ油 …… 適量	★黄パプリカ …… 10g	◎中濃ソース …… 3g
(栄養量は給油率10%で計算)	油 …… 3g	◎酢(後入れ) …… 4g



### 作り方

- ① 鶏もも肉に塩、こしょうで下味をつけ、片栗粉をまぶす。
- ② ①を約170℃の油で揚げる。
- ③ ★の具材を油で炒める。
- ④ ③に◎の調味料を加えて味が馴染むまで煮詰める。  
※酢は加熱すると酸味が飛びやすいので、後から加える
- ⑤ ②で揚げた鶏もも肉の上に④のソースをかけて完成。

### コメント

- ・食欲が出ない時期にさっぱりと食べられるレシピです
- ・ピーマンとパプリカを使用することで見た目も鮮やかに。
- ・ピーマンとパプリカに含まれるビタミンA、ビタミンEは油と一緒に摂取すると吸収率がアップします。

### すこしおポイント

- ・酢を使用して酸味をきかせることで少ない塩分量でも美味しく感じることができます。
- ・酸味をきかせるために酢はあまり加熱しないのがおすすめです。

## 平和・健康・くらし・きずな

# 協 同 ま つ り

と き：2025年10月19日(日)  
午前10時～13時

と ころ：北毛病院駐車場〈渋川市有馬237-1〉

協同とつながりを広げ健康で居心地のよい  
地域づくりを目指しましょう

暑い夏を耐え抜き、やっと秋を迎え、協同まつりの時期がやってきました。住民同士、手作りの楽しい企画が準備されています。見て楽しく、食すれば美味、健康づくりに役立ち、明日の元気につながるお祭りです。秋のひと時をご一緒に楽しみましょう。皆様のご来場をお待ちしています。

2025年協同まつり 実行委員長 阿久澤 咏 (北毛保健生活協同組合理事長)

- 協力団体のみなさま
  - ・新日本新婦人の会 ・年金者組合渋川支部
  - ・群馬県民医連青年ジャンボリー ・あおば薬局渋川店 ・NPO法人やまなみ 麦のゆめ
  - ・NPO法人ほれほれ ありぼーと あすなる ・渋川北群馬9条の会 ・社会福祉法人コスモス保育園
- 主催
  - 北毛保健生活協同組合 (電話：0279-24-2141) 渋川北群馬民主商工会 (電話：0279-22-1482)
- 協賛
  - 生活協同組合コープぐんま (電話：0279-24-5312)
- 後援/渋川市



今年は「スタンプラリー抽選」を実施予定

当日スタンプラリー用紙をもらい、特定の出店を回る→抽選可能  
様々な景品があり！特賞には温泉宿泊券があるとか… ぜひお越しください。